

経済学研究科募集要項（2026年4月入学）

I. 入学試験の概要

1. 入学試験実施一覧

課程	入試区分	1期（10月期）	2期（2月期）
修士	一般入試	○	○
	外国人留学生入試	○	○
	社会人入試	-	○
	シニア大学院入試	○	○
	学内選考入試 ※	○	○
	本学学部早期卒業生選考入試 ※	○	-
	シニア研究生入試	-	○
博士後期	一般入試	○	○
	シニア大学院入試	○	○
	学内選考入試 ※	-	○

※学内選考入試（修士課程・博士後期課程）、本学学部早期卒業生選考入試（修士課程）の選考方法等の詳細は、研究課までお問い合わせください。

2. スケジュール

	1期（10月期）	2期（2月期）
出願期間	2025年8月25日（月）～8月29日（金）	2026年1月5日（月）～1月9日（金）
試験日	2025年10月4日（土）	2026年2月16日（月）
合格発表日	2025年10月10日（金）	2026年2月24日（火）
入学手続期間	2025年10月10日（金）～11月7日（金）	2026年2月24日（火）～3月5日（木）
入学辞退手続期限	2026年3月31日（火）16時まで	

3. 募集人員

課程	専攻	募集人員	標準修業年限	備考
修士	経済学	10名	2年	*募集人員は1期・2期すべての入試区分（指定校推薦入試含む）の総計
博士後期	経済学	5名	3年	

Ⅱ. 出願資格（以下の各入試区分において、いずれかの項目に該当する者）

1. 修士課程

（1）一般入試

- (1) 学校教育法の定める大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込の者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を日本国内において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (5) 日本国内において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
- (7) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (8) 旧制学校等を修了した者
- (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時点において22歳に達している者

※出願資格(10)によって出願しようとする者については、事前に個別の入学資格審査を行います（P. 100参照）。
個別の入学資格審査で出願資格を得た者は、出願時に結果通知書をウェブ登録してください。

（2）留学生入試

[必須] 入学時点において「留学」の在留資格を持つ者

- (1) 学校教育法の定める大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込の者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を日本国内において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (5) 日本国内において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時点において22歳に達している者

※出願資格(7)によって出願しようとする者については、事前に個別の入学資格審査を行います（P. 100参照）。
個別の入学資格審査で出願資格を得た者は、出願時に結果通知書をウェブ登録してください。

（3）社会人入試

[必須] 民間企業・官公庁等において3年以上の実務経験(注)を有する者

(注)会社員等による職務経歴が通算で3年以上あること。かつ、その間の在職期間証明書を提出できること

- (1) 最終学歴が大学卒業（またはこれに準ずる資格を取得）の者は、卒業後5年以上経過していること
- (2) 本研究科において、大学を卒業した者と同等の学力があると認められた者で、入学時点において満27歳以上の者

※「個別の入学資格審査」による出願資格で受験を希望する方は、社会人入試ではなく一般入試・留学生入試を受験してください。

(4) シニア大学院入試

[必須] 指定の期間に事前相談を受け、出願を許可された者

- (1) 学校教育法の定める大学を卒業した者、又は大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者で、入学時点において満 52 歳以上の者
- (2) 出願資格(1)に準ずるもので経済学研究科委員会が認めた者

(5) シニア研究生入試

[必須] 指定の期間に事前相談を受け、出願を許可された者

- (1) 入学時点において、大学卒業後若しくは学士の学位を取得後30年以上経た者
- (2) 出願資格(1)に準ずるもので経済学研究科委員会が認めた者

2. 博士後期課程

(1) 一般入試

[必須] 事前（原則として出願期間の1ヵ月前まで）に研究課を通じて希望指導教員と希望研究テーマ等について相談を行っている者

- (1) 学校教育法における修士の学位や専門職学位を有する者及び2026年3月までに取得見込の者
- (2) 外国において修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
- (3) 外国の学校が行う通信教育を日本国内において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
- (4) 日本国内において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
- (6) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時点において24歳に達している者

※出願資格(7)によって出願しようとする者については、事前に個別の入学資格審査を行います（P. 100参照）。
個別の入学資格審査で出願資格を得た者は、出願時に結果通知書をウェブ登録してください。

(2) シニア大学院入試

[必須] 指定の期間に事前相談を受け、出願を許可された者

- (1) 入学時において満52歳以上で、修士の学位を有する者
- (2) 出願資格(1)に準ずる者で経済学研究科委員会が認めた者

Ⅲ. 出願書類・出願方法（特に記載がない場合は課程・入試区分を問わず共通）

- (1) 下表の各出願書類を、それぞれ「ウェブ登録」「郵送」のいずれか指定された方法で、出願期間を厳守のうえ提出してください（郵送は締切日必着で、消印有効ではありません）。
- (2) ウェブ登録する出願書類の各様式は、本学ホームページ▶大学院・研究▶入試情報からダウンロードしてください（P. 103 も参照してください）。
- (3) ウェブ登録の入力フォーム（P. 105 参照）は、本学ホームページ▶大学院・研究▶入試情報に出願期間中のみ公開されます。
- (4) 郵送する出願書類は、市販の封筒を使用し簡易書留で郵送してください（出願締切日必着）。角 2 サイズの封筒を使用する際は【様式 9】を切り取って使用してください。
博士後期課程志願者において、修士論文等の関係で簡易書留郵便にて郵送できない場合は、追跡可能な発送方法（宅配便、ゆうパック、レターパックプラス等）で対応してください。

【送付先】 〒185-8502 東京都国分寺市南町 1-7-34 東京経済大学研究課・大学院担当
（電話）042-328-7741 （メール）kyomu@s.tku.ac.jp

- (5) 各出願書類は日本語で作成し、すべて取りそろえて提出してください。
- (6) 各出願書類の氏名欄について、漢字圏出身の方は原則漢字での記入をお願いいたします。
- (7) 検定料は、出願期間の前に振り込まないでください。
- (8) 出願手続後は、事情の如何にかかわらず出願書類の返却および入学検定料、振込手数料の返金はいりません。また、出願期間を過ぎての検定料払込、出願書類の提出は無効となります。

志願票【様式 1】 ウェブ登録	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア大学院入試は【様式 1-2】を、シニア研究生入試は【様式 1-3】を、その他の入試はいずれも【様式 1-1】を使用してください。 ・写真はく上半身・脱帽・6 ヶ月以内に撮影・タテ 4 cm×ヨコ 3 cm > のものを貼付してください。 ・写真は入学後の学生証にも使用します。
入学志願者調書 【様式 2】 ウェブ登録	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア大学院入試は【様式 2-3】を、シニア研究生入試は【様式 2-4】を、その他の修士課程入試はいずれも【様式 2-1】を、その他の博士後期課程入試はいずれも【様式 2-2】を使用してください。
研究計画書【様式 3】 ウェブ登録	A4・2 ページ以内を厳守してください。
学業成績証明書 郵送	<p>【修士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出身大学発行のもの 1 通。 ・出身大学に編・転入学した者はそれ以前の短大・大学の成績証明書も添付してください。また、大学院修了（見込含む）者は大学院の成績証明書も添付してください。 <p>【博士後期課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出身大学院修士課程（または専門職学位課程）発行のもの。
卒業（修了）証明書 または 卒業（修了）見込証明書 郵送	<p>【修士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出身大学発行のもの 1 通。 ・大学院修了（見込含む）者は、大学院の修了証明書または修了見込証明書も添付してください。 <p>【博士後期課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出身大学院修士課程（または専門職学位課程）発行のもの 1 通。 <p>※証明書に生年月日の記載がない場合は、官公庁発行の生年月日を証明する書類（住民票など）を提出してください（コピー不可）。</p>

<p>【社会人入試】 在職期間証明書 郵送</p>	<ul style="list-style-type: none"> 出願資格に定める在職期間を証明するもの。 勤務先が複数に渡る場合は、そのすべてが必要となります。
<p>【博士後期課程】 修士論文（本体） 修士論文（要旨） または それに代わるもの 各4部 郵送</p> <p>※簡易書留で郵送できない場合は、研究課にお問い合わせください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 論文の要旨は4,000字程度。提出した修士論文および論文要旨は返却しません。 修士修了後の研究業績とその要旨を付加することができます。 日本語以外の言語による修士論文の提出を認めます。ただし、その場合は日本語による修士論文の全訳およびその要旨（4,000字程度）を各4部提出してください。 修士論文のない者は、修士論文に代わる論文1本以上およびその要旨（4,000字程度）を各4部提出してください。また、日本語以外の言語で書かれた論文を提出する場合は、前項に準じます。 1期入試における修士課程（または専門職学位課程）修了見込者は、作成予定の修士論文の要旨（4,000字程度）を4部日本語で提出。修了見込者で修士論文のない者は、修士論文に代わる論文1本以上の要旨（各論文4,000字程度）を日本語で各4部提出してください。 <p>※本学大学院の「研究成果報告または研究成果報告書」は本稿でいう「修士論文に代わる論文」とは認めません。</p>
<p>入学検定料 35,000円 (シニア研究生は28,000円)</p> <p>振替払込請求書兼受領証 ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> 郵便局窓口で郵便振替により以下の口座へ払い込みをしてください。 払い込み後に渡される「振替払込請求書兼受領証」（A4用紙にコピーしたもの、または原本を撮影した写真データ）を提出してください。 <p>※入学検定料は、出願期間の前に振り込まないでください。</p> <p>【入学検定料払込先】 口座記号番号： 00100-0-300237 加入者名： 学校法人 東京経済大学大学院検定料口</p> <p>※通信欄に「東京経済大学大学院入学検定料」と記入 ※本冊子添付用紙を使用しても可</p>

■ 外国籍の方は、上記に加えて以下の書類を提出してください。

<p>在留カード（表・裏） (在留資格記載のあるもの) ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> スキャンしたデータ、もしくは撮影した写真データを提出してください。 日本国外から出願する場合は、来日後に提出してください。
<p>日本語能力の認定書類 ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「日本語能力試験N1」を受験した方は、成績通知書のコピーを提出してください。 上記以外の方は、本学所定の「日本語能力認定書」【様式7】を提出してください。
<p>入学後における学費等の負担方法に関する調書【様式8】 ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本学所定の用紙に記入して提出してください。
<p>【中国の大学等を卒業（修了）している場合】</p>	<p>中国の大学を卒業（修了）している場合は、教育部学生サービス・発展センター（CSSD:教育部学生服务与素质发展中心）が発行する学歴認証報告書/教育部学历证书电子注册备案表（英文版）を提出することができます。</p> <p>この場合は、本学・研究課（kyomu@s.tku.ac.jp）へメール送信してください。</p> <p>なお、これらが提出される場合は、卒業（修了）証明書の提出を省略して構いません。</p>

■ 筆記試験「英語」の免除を希望する場合は、上記に加えて、以下の書類を提出してください。

筆記試験「英語」免除に該当することを証明する書類 ウェブ登録	・ 原本をスキャンしたデータ、または撮影した写真データを提出してください。
--	---------------------------------------

■ 「授業料後払い制度」申請希望者は、上記に加えて、以下の書類を提出してください。

「授業料後払い制度」希望申請書【様式6】 ウェブ登録	・ 本学所定の用紙に記入して提出してください。
--------------------------------------	-------------------------

■ 出願に関するその他の注意事項

- ・ 日本国外からの出願は、両課程とも10月に実施する1期入試のみが対象となります。
- ・ 日本国内に在留資格「留学」等の身分で在留している外国籍の方は1期、2期のいずれも出願可能です。
- ・ 修士課程一般入試出願資格(10)、外国人留学生入試出願資格(7)、博士後期課程一般入試出願資格(7)に該当する方は、2月実施入試に先立って個別の入学資格審査を受け、出願資格があると判断された場合のみ出願を認めます。従って、両課程とも1期入試の出願は認めません。個別の入学資格審査の申請方法等の詳細は、P.100「個別の入学資格審査について」をご確認ください。
個別の入学資格審査で出願資格を得た方は、出願時に結果通知書をウェブ登録してください。

IV. 選考方法・試験時間・合否判定の基準

1. 修士課程

(1) 一般入試【1期・2期】

選考方法・試験科目		試験時間（予定）
①書類審査	—	—
②筆記試験	専門科目 (2科目) 次の11科目から、志願票に記入した専修科目 1科目、その他1科目、計2科目選択。 政治経済学、理論経済学（※1）、経済学史、 社会思想史、経済史、経済政策、経済事情、国 際経済、財政学、金融論、社会政策 ＊出願時に受験する専門科目を志願票に記入 すること。出願後の科目変更は認めません。 ＊解答は、日本語で行います。	10:00～11:30
	外国語 英語（※2） ＊解答は、日本語で行います。 ＊辞書の使用を認めます。ただし、電子辞書・ 専門用語辞書は除く。	12:30～13:30
	【採点基準（解答のポイント）】 本学ホームページ ▶ 大学院・研究 ▶ 学生募集 ▶ 過去問題・ 出題意図・解答 で公開しています。	—
③口述試験	専門的な知識、理解力等について試問	14:00～
	【選考項目】 研究の目的・研究計画・研究意欲等	
採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。 【合否判定基準】 ①②③のすべてを満たすことで合格となります。 ①書類審査：出願書類を基に総合的に判断する。 ②筆記試験 外国語 100点満点中 50点以上（英語免除者については、100点とみなす）。 専門科目 200点満点中 100点以上。 ③口述試験：口述試験担当者1名につき 50点満点。口述試験担当者3名の平均点 50点満点中、 平均 30点以上。 【(2期入試のみ) 研究生の合格基準】 正規課程の不合格者のうち、研究生を希望していて、大学院で研究を継続できる高い意欲を持ち、 研究科委員会が特に認めた者。		

(※1) 経済学検定試験(ERE ミクロ・マクロ)の成績が A ランク以上の者は理論経済学の筆記試験を免除します。証明する書類のコピーを出願書類に同封してください。また、入試当日は必ず原本を持参してください。2023年4月1日以降に受験したもののみ有効となります。

(※2) 次のいずれかに該当する者は外国語「英語」の筆記試験を免除します。証明する書類をウェブ登録してください。また確認のため、入試当日は必ず原本を持参してください。2023年4月1日以降に受験したもののみ有効となります。

①実用英語技能検定（英検）準1級以上合格者

②TOEFL iBT®スコアが 62 点以上の者

③TOEIC® Listening & Reading Test のスコアが 730 点以上の者(IP テストは対象外)

④IELTS (Academic) のスコアが 5.0 以上の者

(2) 留学生入試【1期・2期】

選考方法・試験科目		試験時間（予定）
①書類審査	—	—
②筆記試験	専門科目 (1科目) 次の11科目から、志願票に記入した専修科目。 政治経済学、理論経済学（※3）、経済学史、 社会思想史、経済史、経済政策、経済事情、国 際経済、財政学、金融論、社会政策 ＊出願時に受験する専門科目を志願票に記入 すること。出願後の科目変更は認めません。 ＊解答は、日本語で行います。	10:00～11:30
	【採点基準（解答のポイント）】 本学ホームページ ▶ 大学院・研究 ▶ 学生募集 ▶ 過去問題・ 出題意図・解答 で公開しています。	
③口述試験	専門的な知識、理解力等について試問	13:00～
	【選考項目】 研究の目的・研究計画・研究意欲等	
採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。 【合否判定基準】 ①②③のすべてを満たすことで合格となります。 ①書類審査：出願書類を基に総合的に判断する。 ②筆記試験：専門科目 100点満点中 50点以上。 ③口述試験：口述試験担当者1名につき 50点満点。口述試験担当者3名の平均点 50点満点中、 平均 25点以上。 【(2期入試のみ) 研究生の合格基準】 正規課程の不合格者のうち、研究生を希望していて、大学院で研究を継続できる高い意欲を持 ち、研究科委員会が特に認めた者。		

(※3) 経済学検定試験(ERE ミクロ・マクロ)の成績が A ランク以上の者は理論経済学の筆記試験を免除します。証明する書類のコピーを出願書類に同封してください。また、入試当日は必ず原本を持参してください。2023年4月1日以降に受験したもののみ有効となります。

(3) 社会人入試【2期】

選考方法・試験科目		試験時間（予定）
①書類審査	—	—
②筆記試験	専門科目 (1科目) 次の11科目から、志願票に記入した専修科目。 政治経済学、理論経済学（※4）、経済学史、 社会思想史、経済史、経済政策、経済事情、国 際経済、財政学、金融論、社会政策 ＊出願時に受験する専門科目を志願票に記入 すること。出願後の科目変更は認めません。 ＊解答は、日本語で行います。	10:00～11:30

	<p>【採点基準（解答のポイント）】</p> <p>本学ホームページ ▶ 大学院・研究 ▶ 学生募集 ▶ 過去問題・出題意図・解答 で公開しています。</p>	
③口述試験	専門的な知識、理解力等について試問	13:00～
	<p>【選考項目】</p> <p>研究の目的・研究計画・研究意欲等</p>	
<p>採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。</p> <p>【合否判定基準】①②③のすべてを満たすことで合格となります。</p> <p>①書類審査：出願書類を基に総合的に判断する。</p> <p>②筆記試験：専門科目 100 点満点中 50 点以上。</p> <p>③口述試験：口述試験担当者 1 名につき 50 点満点。口述試験担当者 3 名の平均点 50 点満点中、平均 25 点以上。</p> <p>【(2 期入試のみ) 研究生の合格基準】</p> <p>正規課程の不合格者のうち、研究生を希望していて、大学院で研究を継続できる高い意欲を持ち、研究科委員会が特に認めた者。</p>		

(※4) 経済学検定試験(ERE ミクロ・マクロ)の成績が A ランク以上の者は理論経済学の筆記試験を免除します。証明する書類のコピーを出願書類に同封してください。また、入試当日は必ず原本を持参してください。2023 年 4 月 1 日以降に受験したものののみ有効となります。

(4) シニア大学院入試【1 期・2 期】

◆事前相談（必須）

- 研究テーマ等を確認し、研究上の不一致を防止するため、事前相談期間を設けています。
事前相談では出願の可否も判断しますので、事前相談を受けていない場合は出願できません。
 - 原則 Zoom によるオンラインで実施します（時間はおおむね 30 分程度）。
 - 予約は相談希望日（土日・祝日を除く）の 1 週間前の 16 時までにメールで受け付けます。
【事前相談予約メール送信先】kyomu@s.tku.ac.jp（東京経済大学・研究課）
【予約申込必要事項】次の①～⑦について A4・1～2 ページ程度にまとめ、送ってください。
①氏名、②生年月日、③電話番号、④志望研究科名、⑤希望指導教員名、
⑥相談希望日（第 3 希望まで）、⑦経歴・志望動機・研究テーマや内容・研究計画等について
- ※1 期入試に出願する場合は 1 期の事前相談期間に、2 期入試に出願する場合は 2 期の事前相談期間に事前相談を受ける必要があります。

◆選考方法・選考項目

- ①書類審査
- ②課題レポート
 - ・課題レポート提示日に、出願者の研究テーマに関連した課題をメールにて指示します。
 - ・3千～4千字程度のレポートを提出期日までに研究課へメールで提出してください（締切日必着）。
 - ・Word で作成し PDF ファイルで提出してください。
- ③口述試験 *25～30 分程度実施 【選考項目】入学の目的、研究計画、研究意欲等

◆合否判定基準

…採点基準、選考項目を基に総合的に判断し、①②③のすべてを満たすことで合格となります。

- ①書類審査 : 出願書類を基に総合的に判断します。
- ②課題レポート : 出願書類と合わせて総合的に判断します。
- ③口述試験 : 口述試験担当者 1 名につき 50 点満点。口述試験担当者 3 名の平均点 50 点満点中、平均 25 点以上。

(2期入試のみ) シニア研究生の合格基準

正規課程の不合格者のうち、シニア研究生を希望していて、大学院で研究を継続できる高い意欲を持ち、研究科委員会が特に認めた者。

◆事前相談等選考日程

	1期	2期
事前相談期間	2025年7月7日(月)～11日(金)	2025年12月1日(月)～5日(金)
課題レポート 提示日	2025年9月9日(火) 研究課からメール送信	2026年1月20日(火) 研究課からメール送信
課題レポート 提出期限	2025年9月23日(火・祝)までに メール必着	2026年2月3日(火)までに メール必着
口述試験	2025年10月4日(土) 10:00～(予定)	2026年2月16日(月) 10:00～(予定)

(5) シニア研究生入試【2期】

◆事前相談(必須)

●研究テーマ等を確認し、研究上の不一致を防止するため、事前相談期間を設けています。

事前相談では出願の可否も判断しますので、事前相談を受けていない場合は出願できません。

●原則 Zoom によるオンラインで実施します(時間はおおむね30分程度)。

●予約は相談希望日(土日・祝日を除く)の1週間前の16時までにメールで受け付けます。

【事前相談予約メール送信先】kyomu@s.tku.ac.jp(東京経済大学・研究課)

【予約申込必要事項】次の①～⑦についてA4・1～2ページ程度にまとめ、送ってください。

①氏名、②生年月日、③電話番号、④志望研究科名、⑤希望指導教員名、

⑥相談希望日(第3希望まで)、⑦経歴・志望動機・研究テーマや内容・研究計画等について

◆選考方法・選考項目

①書類審査

②口述試験 *25～30分程度実施 【選考項目】入学の目的・研究計画・研究意欲等

◆合否判定基準

…採点基準、選考項目を基に総合的に判断し、①②のすべてを満たすことで合格となります。

①書類審査：出願書類を基に総合的に判断します。

②口述試験：口述試験担当者1名につき50点満点。口述試験担当者2名の平均点50点満点中、平均30点以上。

◆事前相談等選考日程

事前相談期間	2025年12月1日(月)～5日(金)
口述試験	2026年2月16日(月) 10:00～(予定)

2. 博士後期課程

(1) 一般入試【1期・2期】

選考方法・試験科目		試験時間（予定）
①書類審査	—	—
②筆記試験 (外国語)	英語(※5)・日本語（外国人留学生のみ日本語も選択可） *解答は、日本語で行います。 *辞書の参照を認めます。ただし、電子辞書・専門用語辞書・漢和辞典は除きます。 *出願時に選択する外国語を志願票に記入してください。 出願後の変更は認めません。	10:00～11:30
	【採点基準（解答のポイント）】 本学ホームページ ▶ 大学院・研究 ▶ 学生募集 ▶ 過去問題・出題意図・解答 で公開しています。	
③口述試験	・修士論文等の内容、研究計画に関することを中心に、 50～60分程度実施	13:00～
	【選考項目】 修士論文等の内容・研究計画に関すること等	
採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。		
【合否判定基準】①②③のすべてを満たすことで合格となります。		
①書類審査：出願書類を基に総合的に判断する。		
②筆記試験：外国語 100点満点中 50点以上。		
③口述試験：口述試験担当者1名につき 50点満点。口述試験担当者3名の平均点 50点満点中、平均 25点以上。		
【(2期入試のみ) 研究生の合格基準】		
正規課程の不合格者のうち、研究生を希望していて、大学院で研究を継続できる高い意欲を持ち、研究科委員会が特に認めた者。		

(※5) 次のいずれかに該当する者は外国語科目「英語」の筆記試験を免除します。証明する書類をウェブ登録してください。また確認のため、入試当日は必ず原本を持参してください。2023年4月1日以降に受験したもののみ有効となります。

- ①実用英語技能検定（英検）準1級以上合格者
- ②TOEFL iBT®スコアが72点以上の者
- ③TOEIC® Listening & Reading Testのスコアが785点以上の者(IPテストは対象外)
- ④IELTS(Academic)のスコアが5.5以上の者

*** 博士後期課程を一般入試で受験する場合は、出願に際して事前（原則として出願期間の1ヵ月前まで）に研究課を通じて希望指導教員と希望研究テーマ等について相談してください。**

(2) シニア大学院入試【1期・2期】

◆事前相談（必須）

- 研究テーマ等を確認し、研究上の不一致を防止するため、事前相談期間を設けています。
事前相談では出願の可否も判断しますので、事前相談を受けていない場合は出願できません。
- 原則 Zoom によるオンラインで実施します（時間はおおむね30分程度）。
- 予約は相談希望日（土日・祝日を除く）の1週間前の16時までにメールで受け付けます。

【事前相談予約メール送信先】 kyomu@s.tku.ac.jp（東京経済大学・研究課）

【予約申込必要事項】 次の①～⑦について A4・1～2 ページ程度にまとめ、送ってください。

- ①氏名、②生年月日、③電話番号、④志望研究科名、⑤希望指導教員名、
⑥相談希望日（第3希望まで）、⑦経歴・志望動機・研究テーマや内容・研究計画等について

◆選考方法・選考項目

①書類審査

②口述試験 *25～30分程度実施 【選考項目】 入学の目的・修士論文等の内容・研究計画に関すること等

◆合否判定基準

…採点基準、選考項目を基に総合的に判断し、①②のすべてを満たすことで合格となります。

①書類審査：出願書類を基に総合的に判断します。

②口述試験：口述試験担当者1名につき50点満点。口述試験担当者3名の平均点50点満点中、平均25点以上。

◆事前相談・口述試験日程

	1期	2期
事前相談期間	2025年7月7日（月）～11日（金）	2025年12月1日（月）～5日（金）
口述試験	2025年10月4日（土）10:00～（予定）	2026年2月16日（月）10:00～（予定）

■ 試験当日の注意事項

- ・受験票送付時の同封書類に記載する時刻に集合してください。
- ・試験会場は、本学国分寺キャンパスです（詳細は受験票にてお知らせします）。
- ・筆記試験については、1時限目開始後30分を過ぎてからの受験は認めません。
- ・口述試験の試験開始時刻は全体の志願状況等によって変更になる場合があります。
- ・1時限目を受験していない場合は、2時限目以降の受験は認めません。
- ・筆記試験、口述試験ともに、特別な記載がない限り、受験票以外の持ち込みは認めません。
（博士後期課程の口述試験において、修士論文（本体・要旨）等の持ち込みも不可です）

経営学研究科 募集要項（2026年4月入学）

I. 入学試験の概要

1. 入学試験実施一覧

課程	入試区分	1期（10月期）	2期（2月期）
修士	一般入試	○	○
	留学生入試	○	○
	社会人入試	—	○
	シニア大学院入試	○	○
	学内選考入試 ※	○	○
	本学学部早期卒業生選考入試 ※	○	—
	シニア研究生入試	—	○
博士後期	一般入試	○	○
	シニア大学院入試	○	○
	学内選考入試 ※	—	○

※学内選考入試（修士課程・博士後期課程）、本学学部早期卒業生選考入試（修士課程）の選考方法等の詳細は、研究課までお問い合わせください。

2. スケジュール

	1期（10月期）	2期（2月期）
出願期間	2025年8月25日（月）～8月29日（金）	2026年1月5日（月）～1月9日（金）
試験日	2025年10月4日（土）	2026年2月16日（月）
合格発表日	2025年10月10日（金）	2026年2月24日（火）
入学手続期間	2025年10月10日（金）～11月7日（金）	2026年2月24日（火）～3月5日（木）
入学辞退手続期限	2026年3月31日（火）16時まで	

3. 募集人員

課程	専攻	募集人員	標準修業年限	備考
修士	経営学	10名	2年	*募集人員は、1期・2期すべての入試区分（指定校推薦入試含む）を合わせた総計
博士後期	経営学	3名	3年	

Ⅱ. 出願資格（以下の各入試区分において、いずれかの項目に該当する者）

1. 修士課程

(1) 一般入試

- (1) 学校教育法の定める大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込の者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を日本国内において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (5) 日本国内において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
- (7) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (8) 旧制学校等を修了した者
- (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時点において22歳に達している者

※ 出願資格(10)によって出願しようとする者については、事前に個別の入学資格審査を行います(P.100参照)。個別の入学資格審査で出願資格を得た者は、出願時に結果通知書をウェブ登録してください。

(2) 留学生入試

[必須] 現在在留資格「留学」を持ち入学手続完了後に在留期間の更新を行う者、または入学手続完了後に在留資格「留学」を取得もしくは変更が可能な者

- (1) 学校教育法の定める大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込の者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を日本国内において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (5) 日本国内において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
- (7) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (8) 旧制学校等を修了した者
- (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時点において22歳に達している者

※ 出願資格(10)によって出願しようとする者については、事前に個別の入学資格審査を行います(P.100参照)。個別の入学資格審査で出願資格を得た者は、出願時に結果通知書をウェブ登録してください。

(3) 社会人入試

入学時において以下のいずれかに該当し、かつ民間企業・官公庁等において3年以上の実務経験(注)を有する者

- (1) 最終学歴が大学卒業（またはこれに準ずる資格を取得）の者は、卒業後5年以上経過していること
- (2) 最終学歴が大学院修了の者は、修了後3年以上経過していること
- (3) 大学を卒業した者と同等の学力があると本研究科において認められた者。ただし満27歳以上であること

※ 「個別の入学資格審査」による出願資格で受験を希望する方は、社会人入試ではなく一般入試・留学生入試を受験してください。

(注) 会社員等による職務経歴が通算で3年以上あること。かつ、その間の在職期間証明書またはそれに代わる証明書類を提出できること。

(4) シニア大学院入試

[必須] 指定する事前相談期間内に事前相談を受け、出願を承諾された者

- (1) 入学時において満 52 歳以上で、大学を卒業した者もしくは学士の学位を有する者
- (2) 出願資格(1)に準ずる者で経営学研究科委員会が認めた者

(5) シニア研究生入試

- (1) 入学時において大学卒業後もしくは学士の学位を取得後、30 年以上を経た者
- (2) 出願資格(1)に準ずる者で経営学研究科委員会が認めた者

※ 指定する事前相談期間内に事前相談を受けることを推奨しています。

2. 博士後期課程

(1) 一般入試

[必須] 事前に（原則 出願期間の 1 ヶ月前までに、研究課を通じて）希望指導教員と希望研究テーマ等の相談を行っている者

- (1) 学校教育法における修士の学位や専門職学位を有する者及び 2026 年 3 月までに取得見込の者
- (2) 外国において修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月までに授与される見込の者
- (3) 外国の学校が行う通信教育を日本国内において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月までに授与される見込の者
- (4) 日本国内において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月までに授与される見込の者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月までに授与される見込の者
- (6) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時点において 24 歳に達している者

※ 出願資格(7)によって出願しようとする者については、事前に個別の入学資格審査を行います（P.100 参照）。個別の入学資格審査で出願資格を得た者は、出願時に結果通知書をウェブ登録してください。

※ 1 期入試への出願にあたっては、特定の出願資格かつ一定の要件が必要となります。
後述のⅣ. 選考方法・試験科目・試験時間 2. 博士後期課程 (1) 一般入試 ① 1 期入試 を参照してください。

(2) シニア大学院入試

[必須] 指定する事前相談期間内に事前相談を受け、出願を承諾された者

- (1) 入学時において満 52 歳以上で、修士の学位を有する者
- (2) 出願資格(1)に準ずる者で経営学研究科委員会が認めた者

※ 1 期入試への出願にあたっては、一定の要件が必要となります。
後述のⅣ. 選考方法・試験科目・試験時間 2. 博士後期課程 (2) シニア大学院入試 を参照してください。

長期履修制度について

出願時の申請等に基づき、以下のとおり長期履修制度を認めることがあります。

【修士課程】

A：シニア大学院入試による出願者

修業年限4年の長期履修を推奨いたします。4年を選択した場合でも研究の進捗状況により、2年または3年で修了することが可能です。詳細は、事前相談時にお伝えします。

B：その他の修士課程入試による出願者

職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて3年または4年の修学を計画されている方につきましては、出願時に長期履修の申請ができます。シニア大学院生以外で申請することができるのは、次のいずれかに該当する方です。

- ①職業を有している方
- ②家事、介護、育児、出産等の諸事情を有する方
- ③その他上記に準じる事情により本研究科が相当な事情があると認めた方

【博士後期課程】

A：シニア大学院入試による出願者

事前相談にて決定した年数（3年～6年）を志願者調書に記載してください。4年・5年・6年を選択した場合でも研究の進捗状況により、3年・4年・5年で修了することが可能です。詳細は、事前相談時にお伝えします。

※在留資格「留学」の場合は、長期履修を申請できません（留学は、勉学への専念が求められるため）。もし、途中で留学資格に切り替えた場合は、長期履修ができなくなります。

※上記Bによる出願者の場合、口述試験内で長期履修に関しても審査します。許可・不許可の結果については、合格者への入学手続書類に同封し、お知らせします。

※上記Bによる出願者の場合、別途書類（修士課程 長期履修学生申請理由書【様式4】および必要に応じて証明書類）を必要とします。詳細は、後述の **Ⅲ. 出願書類・出願方法** を参照してください。

Ⅲ. 出願書類・出願方法（特に記載がない場合は、課程・入試区分を問わず共通）

- (1) 下表の各出願書類を、それぞれ「ウェブ登録」「郵送」のいずれか指定された方法で、出願期間を厳守の上、提出してください（郵送は締切日必着で、消印有効ではありません）。
- (2) ウェブ登録する出願書類の各様式は、本学ホームページ ▶ 大学院・研究 ▶ 入試情報 からダウンロードしてください（P.103も参照してください）。
- (3) ウェブ出願フォーム（P.105参照）は、本学ホームページ ▶ 大学院・研究 ▶ 入試情報 に出願期間中のみ公開されます。
- (4) 郵送する出願書類は、市販の封筒を使用し簡易書留で郵送してください（出願締切日必着）。角2サイズの封筒を使用する際は【様式9】を切り取って使用してください。
博士後期課程志願者において、修士論文等の関係で簡易書留郵便にて郵送できない場合は、追跡可能な発送方法（宅配便、ゆうパック、レターパックプラス等）で対応してください。

【送付先】〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34 東京経済大学研究課・大学院担当
(電話) 042-328-7741 (メール) kyomu@s.tku.ac.jp

- (5) 各出願書類は日本語で作成し、すべて取りそろえて提出してください。
- (6) 各出願書類の氏名欄について、漢字圏出身の方は原則漢字での記入をお願いいたします。
- (7) 検定料は、出願期間の前に振り込まないでください。
- (8) 出願手続後は、事情の如何にかかわらず出願書類の返却および入学検定料、振込手数料の返金は行いません。また、出願期間を過ぎての検定料払込、出願書類の提出は無効となります。

志願票【様式1】 ウェブ登録	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア大学院（修士、博士後期）は【様式1-2】を、シニア研究生（修士）は【様式1-3】を、その他の入試はいずれも【様式1-1】を使用してください。 ・写真はく上半身・脱帽・6ヵ月以内に撮影・縦4cm×横3cm>のものを貼付してください。 ・写真は入学後の学生証にも使用します。
入学志願者調書【様式2】 ウェブ登録	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア大学院（修士、博士後期）は【様式2-3】を使用してください。また、長期履修を希望する場合は、事前相談で確認された年限を必ず選択してください。 ・シニア研究生は【様式2-4】を使用してください。 ・その他の修士課程入試はいずれも【様式2-1】を使用してください。 ・その他の博士後期課程入試は【様式2-2】を使用してください。
研究計画書【様式3】 ウェブ登録	<p style="text-align: center;">A4・2ページ以内を厳守してください。</p>
学業成績証明書 郵送	<p>【修士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出身大学発行のものを1通。 ・出身大学に編・転入学した者はそれ以前の短大・大学の成績証明書も添付。また大学院修了（見込含む）者は、大学院の成績証明書も添付してください。 <p>【博士後期課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出身大学院修士課程（または専門職学位課程）発行のものを1通。
卒業（修了）証明書 または 卒業（修了）見込証明書 郵送	<p>【修士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出身大学発行のものを1通。 ・大学院修了（見込含む）者は、大学院の修了証明書または修了見込証明書も添付してください。 <p>【博士後期課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出身大学院修士課程（または専門職学位課程）発行のものを1通。 <p>※証明書に生年月日の記載がない場合は、官公庁発行の生年月日を証明する書類（住民票など）を提出してください（コピー不可）。</p>

<p>《社会人入試のみ》 「在職期間証明書」または それに代わる証明書類 郵送</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出願資格に定める在職期間を証明するもの。 勤務先が複数に渡る場合は、そのすべてが必要となります。 ・納税証明書など、在職していることがわかる公的証明書でも可。
<p>《博士後期課程のみ》 (シニア大学院入試含) 修士論文(本体) 修士論文(要旨) または それに代わるもの 各4部 郵送</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・論文の要旨は4,000字程度。提出した修士論文および論文要旨は返却しません。 ・修士修了後の研究業績とその要旨を付加することができます。 ・日本語以外の言語による修士論文の提出を認めます。ただし、その場合は日本語による修士論文の全訳およびその要旨(4,000字～8,000字程度、横書)を各4部提出してください。 ・修士論文のない方は、修士論文に代わるもの1点以上およびその要旨(4,000字程度)を各4部提出してください。 また、日本語以外の言語で書かれた論文を提出する場合は、前項に準じます。 <p>※1期入試を受験する場合、上記「修士論文に代わるもの」を提出書類とすることは原則できません。修士論文のない方は研究課にお問い合わせください。 ※「修士論文に代わるもの」とは、学術書、既発表の論文、修士課程・専門職学位課程等で課された「研究成果報告書(ただし本学修士課程出身者は対象外)」を想定しています。 ※詳細は、出願前の希望指導教員との相談において具体的に確認してください。</p>
<p>入学検定料 35,000円 (シニア研究生は28,000円) 振替払込請求書兼受領証 ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料は、出願期間の前に振り込まないでください。 ・郵便局窓口で、郵便振替により、以下の口座へ払い込みをしてください。 ・払い込み後に渡される「<u>振替払込請求書兼受領証</u>」(原本をスキャンしたデータ、または撮影した写真データ)をウェブ登録してください。 <p>【入学検定料払込先】 口座記号番号：00100-0-300237 加入者名：学校法人 東京経済大学大学院検定料口</p> <p>※ 通信欄に「東京経済大学大学院入学検定料」と記入 ※ 本冊子に添付の用紙を使用しても可</p>

■ 筆記試験「英語」の免除を希望する場合は、上記に加えて、以下の書類を提出してください。

<p>筆記試験「英語」免除に該当することを証明する書類 ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・原本をスキャンしたデータ、または撮影した写真データをウェブ登録してください。
--	---

■ 「授業料後払い制度」申請希望者は、上記に加えて、以下の書類を提出してください。

<p>「授業料後払い制度」 希望申請書【様式6】 ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の用紙に記入して提出してください。
---	--

■ 外国籍の方は、上記に加えて、以下の書類を提出してください。

<p>在留カード（表・裏） ※在留資格の記載があるもの ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スキャンしたデータ、または撮影した写真データを提出してください。 ・日本国外から出願する場合は、来日後に提出してください。
<p>日本語能力の認定書類 ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本語能力試験N1」を受験した方は、成績通知書をスキャンしたデータ、または撮影した写真データを提出してください。 ・上記以外の方は、本学所定の「日本語能力認定書」【様式7】（署名欄には、認定者の自署が必要）を提出してください。
<p>入学後における学費等の負担方法に関する調書【様式8】 ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の用紙に記入して提出してください。
<p>【中国の大学等を卒業（修了）している場合】 教育部学生サービス・発展センター（CSSD:教育部学生服务与素质发展中心）が発行する学歴認証報告書/教育部学历证书电子注册备案表（英文版）</p>	<p>中国の大学を卒業(修了)している場合は、教育部学生サービス・発展センター(CSSD:教育部学生服务与素质发展中心)が発行する学歴認証報告書/教育部学历证书电子注册备案表(英文版)を提出することができます。</p> <p><u>この場合は、本学・研究課メールアドレス(kyomu@s.tku.ac.jp)へ直送してください。</u></p> <p>なお、これらが提出される場合は、卒業（修了）証明書の提出を省略して構いません。</p>

■ シニア大学院入試出願者以外で修士課程長期履修制度を希望する場合は、以下の書類を提出してください。

<p>①職業を有している方</p>	<p>①修士課程 長期履修学生申請理由書【様式4】 ウェブ登録</p> <p>②在職期間証明書またはそれに代わる証明書類（納税証明書等） 郵送</p>
<p>②家事、介護、育児、出産等の諸事情を有する方</p>	<p>①修士課程 長期履修学生申請理由書【様式4】 ウェブ登録</p> <p>②できる限り、証明する書類の提出をお願いします。 郵送</p>
<p>③その他上記に準じる事情により本研究科が相当な事情があると認めた方</p>	<p>*証明書類を提出できない場合は、理由書において詳細に理由・事情を記載してください。</p>

◆ 出願に関するその他の注意事項

- ・日本国外からの出願は、両課程とも10月に実施する1期入試のみが対象となります。
- ・日本国内に、在留資格「留学」等の身分で在留している外国籍の方は1期、2期のいずれも出願可能です。
- ・修士課程一般入試出願資格(10)、留学生入試出願資格(10)、博士後期課程一般入試出願資格(7)に該当する方は、2月実施入試に先立って個別の入学資格審査を受け、出願資格があると判断された場合のみ出願を認めます。従って、両課程とも1期入試の出願は認めません。個別の入学資格審査の申請方法等の詳細は、P.100「個別の入学資格審査について」をご確認ください。個別の入学資格審査で出願資格を得た方は、出願時に結果通知書をウェブ登録してください。

* 入学後の指導教員は修士課程、博士後期課程ともに、出願時の希望と異なる場合があります。

IV. 選考方法・試験科目・試験時間・合否判定の基準

1. 修士課程

(1) 一般入試【1期・2期】

選考方法・試験科目		試験時間（予定）
①書類審査	—	—
②筆記試験	専門科目 経営学、経営情報、会計学、商学、経済学の5科目のうち、 志願票に記載した専門科目1科目（2問） を解答。 ＊解答は、日本語で行います。 ＊受験する専門科目について、志願票に○をつけてください。出願後の科目変更は認めません。	10：00～11：30
	英語（※） ＊辞書（ただし、電子辞書・専門用語辞書を除く）の参照を認めます。 ＊解答は、日本語で行います。 ＊志願票の「英語」に○をつけてください。	12：30～13：30
【採点基準（解答のポイント）】 本学ウェブサイト ▶ 大学院・研究 ▶ 学生募集 ▶ 過去問題・出題意図・解答例 で公開しています。		—
③口述試験	・25～30分程度実施 ・「研究計画書」等に基づき試問 ＊試験は、日本語で行います。 （※）英語免除の志願者は、13:00以降に実施する場合があります。	14：00～（※）
	【選考項目】 研究の目的・研究計画・研究意欲等	
採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。 【合否判定基準】 ①②③のすべてを満たすことで合格となります。 ①書類審査：出願書類を基に総合的に判断します。 ②筆記試験：300点満点（＝専門科目100点×2＋英語100点 ※英語免除の場合は200点満点）。平均100点満点中、55点以上。 ③口述試験：150点満点（＝担当者1名あたり50点満点×3名）。平均50点満点中、30点以上。 【（2期入試のみ）研究生の合否判定基準】 ①②③④のすべてを満たすことで研究生合格となります。 ①書類審査：出願書類を基に総合的に判断します。 ②筆記試験：300点満点（＝専門科目100点×2＋英語100点 ※英語免除の場合は200点満点）。平均100点満点中、40点以上。 ③口述試験：150点満点（＝担当者1名あたり50点満点×3名）。平均50点満点中、30点以上、かつ、主査が30点以上。 ④研究生合格について、経営学研究科委員会で過半数の同意を得ること。		

(※) 次のいずれかに該当する者は、申請により、筆記試験「英語」を免除します。

「英語」の免除を希望する場合、TOEFL、TOEIC®、IELTSのスコアを証明する書類をウェブ登録してください。加えて確認のため、**入試当日は必ず原本を持参**してください。**2023年4月1日以降に受験したもののみ有効**です。また、志願票の「英語免除（要証明書類）」に○をつけてください。

①TOEFL iBT62点以上の者

②TOEIC® L&R730点以上(IPテストは対象外)の者

③IELTS 5.0以上のスコアを得ている者

(2) 留学生入試【1期・2期】

選考方法・試験科目		試験時間（予定）
①書類審査	—	—
②筆記試験	専門科目	経営学、経営情報、会計学、商学、経済学の5科目のうち、 志願票に記載した専門科目1科目（2問） を解答。 *解答は、日本語で行います。 *受験する専門科目について、志願票に○をつけてください。出願後の科目変更は認めません。
	日本語	*辞書(ただし、電子辞書・専門用語辞書を除く)の参照を認めます。
【採点基準（解答のポイント）】 本学ウェブサイト ▶ 大学院・研究 ▶ 学生募集 ▶ 過去問題・出題意図・解答例 で公開しています。		
③口述試験	・25～30分程度実施 ・「研究計画書」等の内容に基づき試問 *試験は、日本語で行います。	14：00～
	【選考項目】 研究の目的・研究計画・研究意欲等	
採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。		
【合否判定基準】①②③のすべてを満たすことで合格となります。		
①書類審査：出願書類を基に総合的に判断します。		
②筆記試験：300点満点（＝専門科目100点×2＋日本語100点）。 平均100点満点中、55点以上。		
③口述試験：150点満点（＝担当者1名あたり50点満点×3名）。平均50点満点中、30点以上。		
【（2期入試のみ）研究生の合否判定基準】①②③④のすべてを満たすことで研究生合格となります。		
①書類審査：出願書類を基に総合的に判断します。		
②筆記試験：300点満点（＝専門科目100点×2＋日本語100点）。 平均100点満点中、40点以上。		
③口述試験：150点満点（＝担当者1名あたり50点満点×3名）。 平均50点満点中、30点以上、かつ、主査が30点以上。		
④研究生合格について、経営学研究科委員会で過半数の同意を得ること。		

*（2）の出願資格に該当する場合であっても、（1）で受験することができます。その場合、志願票の「修士一般」に○をつけてください。ただし、母国語での受験はできません。

【（1）（2）の専門科目について】

*「専門科目」は希望指導教員により指定されます（P.53参照）。（1）（2）とも、同一問題で実施します。

*「専門科目」について、『修士課程 2026年度一般入試・留学生入試 専門科目における「参考文献」一覧』を、本募集要覧に掲載しています（P.54参照）。志願票に○をつけた専門科目の「**参考文献**」を必読の上、筆記試験に臨んでください。なお、本学ホームページ ▶ 大学院・研究 ▶ 入試情報 にも掲載しています。

【（1）（2）に共通する事項】

*一般入試出願資格(10)、留学生入試出願資格(10)に該当する者は、2月実施の入試に先立って個別の入学資格審査（P.100参照）を受け、出願資格があると判断された者のみ出願を認めます。従って、1期入試の出願は認めません。

*長期履修制度を希望する場合は、口述試験の際に併せて審査します。

(3) 社会人入試【2期】

選考方法・試験科目		試験時間（予定）
①書類審査	—	—
②小論文	・希望研究テーマにそった小論文1問 *解答は、日本語で行います。	10:00～11:00
	【採点基準（解答のポイント）】 本学ウェブサイト ▶ 大学院・研究 ▶ 学生募集 ▶ 過去問題・ 出題意図・解答例 で公開しています。	
③口述試験	・25～30分程度実施 ・「研究計画書」等に基づき試問 *試験は、日本語で行います。	13:00～
	【選考項目】 研究の目的・研究計画・研究意欲等	
<p>採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。</p> <p>【合否判定基準】①②③のすべてを満たすことで合格となります。</p> <p>①書類審査：出願書類を基に総合的に判断します。</p> <p>②筆記試験：300点満点（＝小論文1問100点×3名で採点）。平均100点満点中、60点以上。</p> <p>③口述試験：150点満点（＝担当者1名あたり50点満点×3名）。平均50点満点中、30点以上。</p> <p>【研究生の合否判定基準】①②③④のすべてを満たすことで研究生合格となります。</p> <p>①書類審査：出願書類を基に総合的に判断します。</p> <p>②筆記試験：300点満点（＝小論文1問100点×3名で採点）。平均100点満点中、40点以上。</p> <p>③口述試験：150点満点（＝担当者1名あたり50点満点×3名）中、 平均50点満点中、30点以上、かつ、主査が30点以上。</p> <p>④研究生合格について、経営学研究科委員会で過半数の同意を得ること。</p>		

*長期履修制度を希望する場合は、口述試験の際に併せて審査します。

(4) シニア大学院入試【1期・2期】

◆事前相談（必須）

- 研究テーマ等を確認し、研究上の不一致を防止するため、事前相談期間を設けています。必ず事前相談を受けてください。
 - 事前相談では、出願の可否も判断します。事前相談を受けていない場合は出願できません。
 - 事前相談は、原則 Zoom によるオンラインで実施します（時間はおおむね30分程度）。
 - 事前相談の予約は、相談希望日（土日・祝日を除く）の1週間前の16時までにメールで受け付けます。
【事前相談予約メール送信先】 kyomu@s.tku.ac.jp（東京経済大学・研究課）
【予約申込必要事項】 次の①～⑦についてA4・1～2ページ程度にまとめ、送ってください。
①氏名、②生年月日、③電話番号、④志望研究科名、⑤希望指導教員名、
⑥相談希望日（第3希望まで）、⑦経歴・志望動機・研究テーマや内容・研究計画等について
- ※1期入試に出願する場合は1期の事前相談期間に、2期入試に出願する場合は2期の事前相談期間に事前相談を受ける必要があります。

◆選考方法・選考項目

- ①書類審査
- ②課題レポート
 - ・課題レポート提示日に、出願者の研究テーマに関連した課題をメールにて指示します。
 - ・3千～4千字程度のレポートを提出期日までに研究課へメールで提出してください（締切日必着）。
 - ・Word で作成し、PDF ファイルでの提出を求めます。
- ③口述試験 *25～30分程度実施 【選考項目】 入学の目的、研究計画、研究意欲等
*試験は、日本語で行います。

◆合否判定基準

…採点基準、選考項目を基に総合的に判断し、①②③のすべてを満たすことで合格となります。

- ①書類審査 : 出願書類を基に総合的に判断します。
- ②課題レポート: 書類審査の結果を所与として、レポートを総合的に判断します。
- ③口述試験 : 150 点満点 (=担当者 1 名あたり 50 点満点×3 名)。平均 50 点満点中、30 点以上。

(2 期入試のみ)シニア研究生の合否判定基準

…課題レポートが基準を満たさず、①②③のすべてを満たすことでシニア研究生合格となります。

- ①書類審査: 出願書類を基に総合的に判断します。
- ②口述試験: 150 点満点 (= 担当者 1 名あたり 50 点満点×3 名)。平均 50 点満点中、30 点以上、かつ、主査が 30 点以上。
- ③シニア研究生合格について、経営学研究科委員会で過半数の同意を得ること。

◆事前相談等選考日程

	1 期	2 期
事前相談期間	2025 年 7 月 7 日 (月) ~ 7 月 11 日 (金)	2025 年 12 月 1 日 (月) ~12 月 5 日 (金)
課題レポート 提示日	2025 年 9 月 9 日 (火) 研究課からメール送信	2026 年 1 月 20 日 (火) 研究課からメール送信
課題レポート 提出期日	2025 年 9 月 23 日 (火・祝) までに メール必着	2026 年 2 月 3 日 (火) までに メール必着
口述試験	2025 年 10 月 4 日 (土) 10:00~ (予定)	2026 年 2 月 16 日 (月) 10:00~ (予定)

(5) シニア研究生入試【2 期】

◆事前相談 (推奨)

- 研究テーマ等を確認し、研究上の不一致を防止するため、事前相談期間を設けています。
出願に際しては、事前相談を受けることを推奨しています。
- 事前相談は、原則 Zoom によるオンラインで実施します (時間はおおむね 30 分程度)。
- 事前相談の予約は、相談希望日 (土日・祝日を除く) の 1 週間前の 16 時までにメールで受け付けます。
【事前相談予約メール送信先】 kyomu@s.tku.ac.jp (東京経済大学・研究課)
【予約申込必要事項】 次の①~⑦について A4・1~2 ページ程度にまとめ、送ってください。
①氏名、②生年月日、③電話番号、④志望研究科名、⑤希望指導教員名、
⑥相談希望日 (第 3 希望まで)、⑦経歴・志望動機・研究テーマや内容・研究計画等について

◆選考方法・選考項目

- ①書類審査
- ②口述試験 *25~30 分程度実施 【選考項目】 入学の目的・研究計画・研究意欲等
*試験は、日本語で行います。

◆合否判定基準

…採点基準、選考項目を基に総合的に判断し、①②③のすべてを満たすことで合格となります。

- ①書類審査: 出願書類を基に総合的に判断します。
- ②口述試験: 150 点満点 (= 担当者 1 名あたり 50 点満点×3 名)。平均 50 点満点中、30 点以上、かつ、主査が 30 点以上。
- ③経営学研究科委員会で過半数の同意を得ること。

◆事前相談等選考日程

事前相談期間	2025 年 12 月 1 日 (月) ~12 月 5 日 (金)
口述試験	2026 年 2 月 16 日 (月) 10:00~ (予定)

2. 博士後期課程

(1) 一般入試【1期・2期】

※ 事前に(原則 出願期間の1ヵ月前までに、研究課を通じて)希望指導教員と希望研究テーマ等について、相談してください(必須)。

① 1期入試

選考方法・試験科目		試験時間(予定)
①書類審査	—	—
②口述試験	・50～60分程度実施 ・「研究計画書」等に基づき試問 *試験は、日本語で行います。	10:00～
	【選考項目】 修士論文等の内容・研究計画に関すること等	
採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。 【合否判定基準】 ①②のすべてを満たすことで合格となります。 ①書類審査：出願書類を基に総合的に判断します。 ②口述試験：担当者3名中、「合格」評価が過半数(2名以上)。		

※ 1期入試においては、次の【要件1】から【要件3】までのすべてを満たしている場合のみ出願できます。

【要件1】以下のいずれかを満たしている者

- (1)学校教育法における修士の学位や専門職学位を有する者及び2025年9月までに取得見込の者
- (2)外国において修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2025年9月までに授与される見込の者

【要件2】以下のいずれかを満たしている者

- <1>①TOEFL iBT72点以上、②TOEIC® L&R785点以上(IPテストは不可)、③IELTS 5.5以上のいずれかのスコアを得ている者で、出願前の希望指導教員との相談において具体的に確認を受けた者
 →該当者は、TOEFL、TOEIC®、IELTSのスコアを証明する書類をウェブ登録してください。また確認のため、**入試当日は必ず原本を持参**してください。**2023年4月1日以降に受験したもののみ有効**です。
- <2>入学時点で大学・短期大学・高等専門学校において2年以上専任教員の経歴を有し、かつ出願時より5年以内に公表された学術論文の業績を有する者で、出願前の希望指導教員との相談において具体的に確認を受けた者
 →該当者は、英語試験免除申請文書(書式は自由、①所属機関において2年以上専任教員であることがわかるURL、②5年以内に学術論文があることがわかるURLを記載)をウェブ登録してください。

【要件3】原則として「修士論文(本体および要旨)」を出願書類として提出できる者

② 2期入試

選考方法・試験科目		試験時間（予定）
①書類審査	—	—
②筆記試験	英語（※） * 解答は、日本語で行います。 * 辞書(ただし、電子辞書・専門用語辞書を除く)の参照を認めます。	10:00～12:00
	【採点基準（解答のポイント）】 本学ウェブサイト ▶ 大学院・研究 ▶ 学生募集 ▶ 過去問題・ 出題意図・解答例 で公開しています。	
③口述試験	・ 50～60 分程度実施 ・ 「研究計画書」等の内容に基づき試問 * 試験は、日本語で行います。 (*) 英語免除の志願者は、10:00 以降に実施する場合があります。	13:00～（*）
	【選考項目】 修士論文等の内容・研究計画に関すること等	
<p>採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。</p> <p>【合否判定基準】①②③のすべてを満たすことで合格となります。</p> <p>①書類審査：出願書類を基に総合的に判断します。</p> <p>②筆記試験：200 点満点 (= 英語 100 点×2 問 ※英語免除の場合は口述試験のみで判定)。 平均 100 点満点中、50 点以上。</p> <p>③口述試験：担当者 3 名中、「合格」評価が過半数（2 名以上）。</p> <p>【（2 期入試のみ）研究生の合否判定基準】①②③④のすべてを満たすことで研究生合格となります。</p> <p>①書類審査：出願書類を基に総合的に判断します。</p> <p>②筆記試験：200 点満点 (= 英語 100 点×2 問 ※英語免除の場合は口述試験のみで判定)。 平均 100 点満点中、30 点以上。</p> <p>③口述試験：担当者 3 名中、「合格」評価または「研究生可」評価が過半数（2 名以上）。</p> <p>④研究生合格について、経営学研究所委員会で過半数の同意を得ること。</p>		

(※) 以下のいずれかに該当する場合、申請により、筆記試験「英語」を免除します。

<1>①TOEFL iBT72 点以上、②TOEIC® L&R785 点以上(IP テストは不可)、③IELTS 5.5 以上のいずれかのスコアを得ている者で、出願前の希望指導教員との相談において具体的に確認を受けた者
→該当者は、TOEFL、TOEIC®、IELTS のスコアを証明する書類をウェブ登録してください。また確認のため、入試当日は必ず原本を持参してください。2023 年 4 月 1 日以降に受験したもののみ有効です。

<2>入学時点で大学・短期大学・高等専門学校において 2 年以上専任教員の経歴を有し、かつ出願時より 5 年以内に公表された学術論文の業績を有する者で、出願前の希望指導教員との相談において具体的に確認を受けた者
→該当者は、英語試験免除申請文書（書式は自由、①所属機関において 2 年以上専任教員であることがわかる URL、②5 年以内に学術論文があることがわかる URL を記載）をウェブ登録してください。

(2) シニア大学院入試【1期・2期】

※ 1期入試は、前述の博士後期課程（1）一般入試 ①1期入試 の【要件1】【要件3】の両方を満たしている場合のみ出願できます。

◆事前相談（必須）

- 研究テーマ等を確認し、研究上の不一致を防止するため、事前相談期間を設けています。必ず事前相談を受けてください。
 - 事前相談では、出願の可否も判断します。事前相談を受けていない場合は出願できません。
 - 事前相談は、原則 Zoom によるオンラインで実施します（時間はおおむね 30～60 分程度）。
 - 事前相談の予約は、相談希望日（土日・祝日を除く）の 1 週間前の 16 時までにメールで受け付けます。
【事前相談予約メール送信先】 kyomu@s.tku.ac.jp（東京経済大学・研究課）
【予約申込必要事項】 次の①～⑦について A4・1～2 ページ程度にまとめ、送ってください。
①氏名、②生年月日、③電話番号、④志望研究科名、⑤希望指導教員名、
⑥相談希望日（第 3 希望まで）、⑦経歴・志望動機・研究テーマや内容・研究計画等について
- ※事前相談では、希望する研究テーマや内容・研究計画等に加えて、希望修業年限についての相談を行います。長期間にわたる研究として問題がないと判断した場合に、4 年～6 年の修業年限を指定して出願を承諾します（テーマによっては、標準修業年限(3 年)で出願許可となる場合があります）。
- ※1 期入試に出願する場合は 1 期の事前相談期間に、2 期入試に出願する場合は 2 期の事前相談期間に事前相談を受ける必要があります。

◆選考方法・選考項目

- ①書類審査
- ②口述試験 *50～60 分程度実施 【選考項目】 入学の目的・修士論文等の内容・研究計画
*試験は、日本語で行います。 に関すること等

◆合否判定基準

- …採点基準、選考項目を基に総合的に判断し、①②のすべてを満たすことで合格となります。
- ①書類審査：出願書類を基に総合的に判断します。
 - ②口述試験：担当者 3 名中、「合格」評価が過半数（2 名以上）。

◆事前相談等選考日程

	1 期	2 期
事前相談期間	2025 年 7 月 7 日（月）～ 7 月 11 日（金）	2025 年 12 月 1 日（月）～12 月 5 日（金）
口述試験	2025 年 10 月 4 日（土） 10:00～（予定）	2026 年 2 月 16 日（月） 10:00～（予定）

■ 試験当日の注意事項

- ・出願後に送付する受験票に記載の時刻に集合してください。
- ・試験会場は、本学国分寺キャンパスです（詳細は受験票にてお知らせします）。
- ・筆記試験については、1 時限目開始後 30 分を過ぎてからの受験は認めません。
- ・1 時限目の試験を受験していない場合は、2 時限目以降の受験は認めません。
- ・口述試験の開始時刻は、全体の志願状況等によって変更になる場合があります。
- ・筆記試験、口述試験ともに、特別な記載がない限り、受験票以外の持ち込みは認めません。
（博士後期課程の口述試験において、修士論文（本体・要旨）等の持ち込みも不可です）

コミュニケーション学研究科募集要項（2026年4月入学）

I. 入学試験の概要

1. 入学試験実施一覧

課程	入試区分	1期（10月期）	2期（2月期）
修士	一般入試	○	○
	留学生入試	○	○
	社会人入試	-	○
	シニア大学院入試	○	○
	学内選考入試 ※	○	○
	本学学部早期卒業生選考入試 ※	○	-
	シニア研究生入試	-	○
博士後期	一般入試	○	○
	シニア大学院入試	○	○
	学内選考入試 ※	-	○

※学内選考入試（修士課程・博士後期課程）、本学学部早期卒業生選考入試（修士課程）の選考方法等の詳細は、研究課までお問い合わせください。

2. スケジュール

	1期（10月期）	2期（2月期）
出願期間	2025年8月25日（月）～8月29日（金）	2026年1月5日（月）～1月9日（金）
試験日	2025年10月4日（土）	2026年2月16日（月）
合格発表日	2025年10月10日（金）	2026年2月24日（火）
入学手続期間	2025年10月10日（金）～11月7日（金）	2026年2月24日（火）～3月5日（木）
入学辞退手続期限	2026年3月31日（火）16時まで	

3. 募集人員

課程	専攻	募集人員	標準修業年限	備考
修士	コミュニケーション学	20名	2年	*募集人員は、指定校推薦入試を含むすべての入試区分を合わせた総計。
博士後期	コミュニケーション学	5名	3年	

Ⅱ. 出願資格（以下の各入試区分において、いずれかの項目に該当する者）

1. 修士課程

（1）一般入試

- (1) 学校教育法の定める大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込の者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を日本国内において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (5) 日本国内において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
- (7) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (8) 旧制学校等を修了した者
- (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時点において22歳に達している者

*出願資格(10)によって出願しようとする者については、事前に個別の入学資格審査を行います(P.100参照)。

個別の入学資格審査で出願資格を得た者は、出願時に結果通知書をウェブ登録してください。

（2）留学生入試

[必須] 現在在留資格「留学」を持ち入学手続完了後に在留期間の更新を行う者、または入学手続完了後に在留資格「留学」を取得もしくは変更が可能なる者

- (1) 学校教育法の定める大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込の者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を日本国内において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (5) 日本国内において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時点において22歳に達している者

*出願資格(7)によって出願しようとする者については、事前に個別の入学資格審査を行います(P.100参照)。

個別の入学資格審査で出願資格を得た者は、出願時に結果通知書をウェブ登録してください。

（3）修士課程社会人入試

入学時点において以下記載のいずれかに該当し、かつ民間企業・官公庁等において3年以上の実務経験を有する者（注）

- (1) 最終学歴が大学卒業（またはこれに準ずる資格を取得）の者は、卒業後3年以上経過していること
- (2) 大学を卒業した者と同等の学力があると本研究科において認めた者。ただし年齢満25歳以上であること

*「個別の入学資格審査」による出願資格で受験を希望する方は、社会人入試ではなく一般入試・留学生入試を受験してください。

（注）会社員等による職務経歴が通算で3年以上あること。かつ、その間の在職期間証明書を提出できること。

(4) シニア大学院入試

【必須】 指定する事前相談期間内に事前相談を受け、出願を承諾された者

- (1) 入学時において満 52 歳以上で、大学を卒業した者もしくは学士の学位を有する者
- (2) 出願資格(1)に準ずる者で研究科委員会が認めた者

(5) シニア研究生（修士課程）

- (1) 入学時において大学卒業後もしくは学士の学位を取得後 30 年以上を経た者
- (2) 出願資格(1)に準ずる者で研究科委員会が認めた者

2. 博士後期課程

(1) 一般入試

【必須】 事前に（原則 出願期間の 1 ヶ月前までに、研究課を通じて）希望指導教員と希望研究テーマ等の相談を行っている者

- (1) 学校教育法における修士の学位や専門職学位を有する者及び 2026 年 3 月までに取得見込の者
- (2) 外国において修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月までに授与される見込の者
- (3) 外国の学校が行う通信教育を日本国内において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月までに授与される見込の者
- (4) 日本国内において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月までに授与される見込の者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月までに授与される見込の者
- (6) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時点において 24 歳に達している者

*出願資格(7)によって出願しようとする者については、事前に個別の入学資格審査を行います（P. 100 参照）。

個別の入学資格審査で出願資格を得た者は、出願時に結果通知書をウェブ登録してください。

(2) シニア大学院入試

【必須】 指定する事前相談期間内に事前相談を受け、出願を承諾された者

- (1) 入学時において満 52 歳以上で、修士の学位を有する者
- (2) 出願資格(1)に準ずる者で研究科委員会が認めた者

*コミュニケーション学研究に関わる課程を修了して 10 年以内の場合は、年齢に拘わらず一般入試に出願することを原則とする。この原則に当てはまらない場合でも、研究科委員会で出願を特別に認可することがあるが、事前に研究科委員会で出願資格を審査するので、必ず出願前に事前相談を受けることが必要である。

Ⅲ. 出願方法・出願書類（特段の記載が無い場合は、課程・入試区分を問わず共通）

- (1) 下表の各出願書類を、それぞれ「ウェブ登録」「郵送」のいずれか指定された方法で、出願期間を厳守の上、提出してください（郵送は締切日必着で、消印有効ではありません）。
- (2) ウェブ登録する出願書類の各様式は、本学ホームページ ▶ 大学院・研究 ▶ 入試情報 からダウンロードしてください（P. 103 も参照してください）。
- (3) ウェブ出願フォーム（P. 105 参照）は、本学ホームページ ▶ 大学院・研究 ▶ 入試情報 に出願期間中のみ公開されます。
- (4) 郵送する出願書類は、市販の封筒を使用し簡易書留で郵送してください（出願締切日必着）。角 2 サイズの封筒を使用する際は【様式 9】を切り取って使用してください。
博士後期課程志願者において、修士論文等の関係で簡易書留郵便にて郵送できない場合は、追跡可能な発送方法（宅急便、ゆうパック、レターパックプラス等）で対応してください。

【送付先】 〒185-8502 東京都国分寺市南町 1-7-34 東京経済大学研究課・大学院担当
（電話） 042-328-7741 （メール） kyomu@s.tku.ac.jp

- (5) 各出願書類は日本語で作成し、すべて取りそろえて提出してください。
- (6) 各出願書類の氏名欄について、漢字圏出身の方は原則漢字での記入をお願いいたします。
- (7) 検定料は、出願期間の前に振り込まないでください。
- (8) 出願手続後は、事情の如何にかかわらず出願書類の返却および入学検定料、振込手数料の返金はいりません。また、出願期間を過ぎての検定料払込、出願書類の提出は無効となります。

志願票【様式 1】 ウェブ登録	<ul style="list-style-type: none"> ・写真は上半身、脱帽、6 か月以内に撮影した＜縦 4 c m × 横 3 c m＞のものを貼付してください。入学後の学生証用写真として使用します。 【シニア大学院（修士・博士後期）、シニア研究生以外】 ・【様式 1-1】に必要事項を記入してください。 【シニア大学院（修士・博士後期）】 ・【様式 1-2】に必要事項を記入してください。 【シニア研究生】 ・【様式 1-3】に必要事項を記入してください。
入学志願者調書 【様式 2】 ウェブ登録	<ul style="list-style-type: none"> 【修士課程（シニア大学院（修士）・シニア研究生以外）】 ・【様式 2-1】に必要事項を記入してください。 【博士後期課程（シニア大学院（博士後期）以外）】 ・【様式 2-2】に必要事項を記入してください。 【シニア大学院（修士・博士後期）】 ・【様式 2-3】に必要事項を記入してください。 ・標準修業年限は修士課程 2 年、博士後期課程 3 年ですが、長期履修を希望する場合は、事前相談で確認された年限を必ず選択してください。 【シニア研究生】 ・【様式 2-4】に必要事項を記入してください。
研究計画書【様式 3】 ウェブ登録	<p>A4 サイズ 2 ページ以内を厳守してください。</p>

<p>学業成績証明書 郵送</p>	<p>【修士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出身大学発行のもの1通。 ・出身大学に編・転入学した者はそれ以前の短大・大学の成績証明書も提出してください。また大学院修了（見込含む）者は、大学院の成績証明書も提出してください。 <p>【博士後期課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出身大学院修士課程（または専門職学位課程）発行のもの1通。
<p>卒業（修了）証明書 または 卒業（修了）見込証明書 郵送</p>	<p>【修士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出身大学発行のもの1通。 ・大学院修了（見込）者は、大学院の修了（見込）証明書も提出してください。 <p>【博士後期課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出身大学院修士課程（または専門職学位課程）発行のもの1通。 <p>※証明書に生年月日の記載がない場合のみ、官公庁発行の生年月日を証明する書類（住民票など）を提出してください（コピー不可）。</p>
<p>＜修士課程のみ＞ （シニア大学院入試、 シニア研究生入試除く） 卒業論文の要旨等 郵送</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文（作成または構想段階のものを含む）の要旨を2,000字程度にまとめて提出してください。 ・卒業論文を作成していない場合は、学部での学習成果について2,000字程度にまとめたものを提出してください。
<p>＜博士後期課程のみ＞ （シニア大学院入試含む）</p> <p>修士論文（本体） 修士論文（要旨） または それに代わるもの</p> <p>各4部 郵送</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・論文の要旨は4,000字程度。 ・修士修了後の研究業績とその要旨を付加することができます。 ・日本語以外の言語による修士論文の提出を認めます。ただし、英語論文以外には日本語による修士論文の全訳およびその要旨（4,000字～8,000字程度横書）を各4部、英語論文の場合は、英語論文（和訳不要）と、その要旨（4,000字～8,000字程度横書）の和訳各4部を提出してください。 ・修士論文がない方は、修士論文に代わる論文または制作物を提出してください。 <p>論文の場合：1本以上とその要旨（4,000字程度）各4部を提出すること。また、日本語以外の言語で書かれた論文を提出する場合は、前項に準じるものとします。</p> <p>制作物の場合：映像、音、文字等によって表現されているものをDVD、CD-R、紙等の保存性、再現性のある記録媒体に収録し、提出してください。また、4,000字程度の解説文（A4の印刷物）を添付してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1期入試に、修了見込者が修士論文を完成していない段階で出願する場合には、作成中の論文の要旨（4,000字程度）4部を提出してください。（合格した方は、完成した修士論文を後日提出していただきます）
<p>＜社会人入試のみ＞ 在職期間証明書 郵送</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出願資格に定める常勤としての在職期間を証明するもの。勤務先が複数に渡る場合は、そのすべてが必要となります。
<p>入学検定料 35,000円 （シニア研究生は 28,000円）</p> <p>振替払込請求書兼受領証 ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便局窓口で、郵便振替により、以下の口座へ払い込みをしてください。 ・払い込み後に渡される「振替払込請求書兼受領証」（原本をスキャンしたデータ、または撮影した写真データ）をウェブ登録してください。 ・検定料は出願期間前に振り込まないでください。 <p>【入学検定料払込先】</p> <p>口座記号番号： 00100-0-300237</p> <p>加入者名： 学校法人 東京経済大学大学院検定料口</p> <p>※通信欄に「東京経済大学大学院入学検定料」と記入</p> <p>※本冊子に添付の用紙を使用しても可</p>

■ 以下は、該当し希望する方のみ提出してください。

<p>英語試験免除に該当する証明書類 ウェブ登録</p>	<p>原本をスキャンしたデータ、または撮影した写真データをウェブ登録してください。</p>
<p>「授業料後払い制度」 希望申請書【様式6】 ウェブ登録</p>	<p>本学所定の用紙に記入して提出してください。</p>

■ 外国籍の方は、上記に加えて、以下の書類を提出してください。

<p>在留カード（表・裏） （在留資格の記載のあるもの） ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カードをスキャンしたデータ、または撮影した写真データをウェブ登録してください。 ・（1期入試出願者のみ）日本国外からの出願者は、来日後にコピーを提出してください。
<p>日本語能力の認定書類 ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本語能力試験N1レベル（1級）」に合格した者は、成績通知書（原本をスキャンしたデータ、または撮影した写真データ）を提出してください。 ・上記以外の者は、本学所定の「日本語能力認定書」【様式7】を提出してください。
<p>入学後における学費等の負担方法に関する調書【様式8】 ウェブ登録</p>	<p>本学所定の用紙に記入して提出してください。</p>
<p>＜中国の大学等を卒業（修了）している場合＞ 教育部学生サービス・発展センター（CSSD:教育部学生服务与素质发展中心）が発行する学歴認証報告書/教育部学历证书电子注册备案表（英文版）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の大学を卒業（修了）している場合は、教育部学生サービス・発展センター（CSSD:教育部学生服务与素质发展中心）が発行する学歴認証報告書/教育部学历证书电子注册备案表（英文版）を提出することができます。 ・この場合は、メールにて本学・研究課メールアドレス（kyomu@s.tku.ac.jp）へ直送するようにしてください。なお、これらが提出される場合は、卒業（修了）証明書の提出を省略して構いません。

◆出願に関するその他の注意事項

- ・日本国外からの出願は、修士課程・博士後期課程とも10月に実施する1期入試のみが対象となります。
 - ・日本国内に在留資格「留学」等の身分で在留している外国籍の方は1期、2期のいずれも出願可能です。
 - ・修士課程一般入試出願資格(10)、留学生入試出願資格(7)、博士後期課程一般入試出願資格(7)に該当する方は、2期入試に先立つ個別の入学資格審査を受け、出願資格ありと判断された場合のみ出願を認めます。従って、両課程とも1期入試の出願は認めません。
- 個別の入学資格審査の申請方法等の詳細は、P.100「個別の入学資格審査について」をご確認ください。
個別の入学資格審査で出願資格を得た方は、結果通知書を出願時にウェブ登録してください。

IV. 試験科目・試験時間・合否判定の基準

1. 修士課程

(1) 一般入試【1期・2期】

選考方法・試験科目		試験時間（予定）
書類審査	全員実施	—
筆記試験	基礎課題・専門課題 *基礎課題（コミュニケーションの基礎的用語等に関する課題） *専門課題（コミュニケーションに関係した課題） *解答は、日本語で行います。	10：00～11：30
	英語 *辞書の参照を認めます（電子辞書・専門用語辞書は除く） *解答は、日本語で行います。	12：30～14：00
	【採点基準（解答のポイント）】 本学ホームページ ▶ 大学院・研究 ▶ 学生募集 ▶ 過去問題・ 出題意図・解答例 で公開しています。	—
口述試験	全員実施	14：45～ (※)
	【選考項目】 研究の目的・研究計画・研究意欲等を「研究計画書」等の内容に基づき試問します。 日本語を母語としない受験者には、大学院で研究できるレベルの日本語能力を有しているかを口頭で確認します。	—
採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。		
【合否判定基準】以下の①～③のすべてを満たすことで合格となります。		
①書類審査 …出願書類を基に総合的に判断します。		
②筆記試験 …「基礎課題」50点満点中30点以上 「専門課題」50点満点中30点以上 「英語」100点満点中40点以上		
③口述試験 …口述試験担当者3名による各100点満点の平均点が60点以上		
【(2期入試のみ) 研究生の合格基準】 正規課程の不合格者のうち、研究生を希望していて、大学院で研究を継続できる高い意欲を持ち、研究科委員会が特に認めた者		

- ・TOEFL iBT62点以上、TOEIC® L&R730点以上(IPテストは不可)、IELTS 5.0以上のスコアを得ている場合、筆記試験の「英語」を免除します。
「英語」の免除を希望する場合、TOEFL、TOEIC®、IELTSのスコアがわかる証明書類をウェブ登録してください。また確認のため、試験当日は必ず原本を持参してください。
2023年4月1日以降に受験したもののみ有効です。

(※) 英語試験免除の志願者については、口述試験を13：00以降に実施する場合があります。

(2) 留学生入試【1期・2期】

選考方法・試験科目		試験時間 (予定)
書類審査	全員実施	—
筆記試験	基礎課題・専門課題 *基礎課題 (コミュニケーションの基礎的用語等に関する課題) *専門課題 (コミュニケーションに関係した課題) *解答は、日本語で行います。 【採点基準 (解答のポイント)】	10:00~11:30
	本学ホームページ ▶ 大学院・研究 ▶ 学生募集 ▶ 過去問題・ 出題意図・解答例 で公開しています。	—
口述試験	全員実施	13:00~
	【選考項目】 研究の目的・研究計画・研究意欲等を「研究計画書」等の内容に基づき試問します。 また、大学院で研究できるレベルの日本語能力を有しているかを口頭で確認します。	—
<p>採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。</p> <p>【合否判定基準】以下の①~③のすべてを満たすことで合格となります。</p> <p>①書類審査 …出願書類を基に総合的に判断します。</p> <p>②筆記試験 …「基礎課題」50点満点中30点以上 「専門課題」50点満点中30点以上</p> <p>③口述試験 …口述試験担当者3名による各100点満点の平均点が60点以上</p> <p>【(2期入試のみ) 研究生の合格基準】 正規課程の不合格者のうち、研究生を希望していて、大学院で研究を継続できる高い意欲を持ち、研究科委員会が特に認めた者</p>		

(3) 社会人入試【2期】

選考方法・試験科目		試験時間（予定）
書類審査	全員実施	—
筆記試験	基礎課題・専門課題 *基礎課題（コミュニケーションの基礎的用語等に関する課題） *専門課題（コミュニケーションに関係した課題） *解答は、日本語で行います。	10:00～11:30
	【採点基準（解答のポイント）】 本学ホームページ ▶ 大学院・研究 ▶ 学生募集 ▶ 過去問題・ 出題意図・解答例 で公開しています。	—
口述試験	全員実施	13:00～
	【選考項目】 研究の目的・研究計画・研究意欲等を「研究計画書」等の内容に基づき試問します。 日本語を母語としない受験者には、大学院で研究できるレベルの日本語能力を有しているかを口頭で確認します。	—
<p>採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。</p> <p>【合否判定基準】以下の①～③のすべてを満たすことで合格となります。</p> <p>①書類審査 …出願書類を基に総合的に判断します。</p> <p>②筆記試験 …「基礎課題」50点満点中30点以上 「専門課題」50点満点中30点以上</p> <p>③口述試験 …口述試験担当者3名による各100点満点の平均点が60点以上</p> <p>【(2期入試のみ) 研究生の合格基準】 正規課程の不合格者のうち、研究生を希望していて、大学院で研究を継続できる高い意欲を持ち、研究科委員会が特に認めた者</p>		

(4) シニア大学院入試【1期・2期】

◆事前相談

- 研究テーマ等を確認し、研究上の不一致を防止するため、事前相談期間を設けています。事前相談で、出願の可否を判断しますので、事前相談を受けていない場合は出願できません。
 - 事前相談は、原則 Zoom によるオンラインで実施します（時間はおおむね 30 分程度）。
 - 事前相談の予約は、相談希望日（土日・祝日を除く）の 1 週間前の 16 時までにメールで受け付けます。
【事前相談予約メール送信先】 kyomu@s.tku.ac.jp（東京経済大学・研究課）
【予約申込必要事項】 以下の内容を A4・1～2 ページ程度にまとめて送ってください。
①氏名、②生年月日、③電話番号、④志望研究科名、⑤希望指導教員名、⑥相談希望日（第 3 希望まで、時間の指定があれば明記）、⑦経歴・志望動機・研究テーマや内容・研究計画等について
- ※1 期入試に出願する場合は 1 期の事前相談期間に、2 期入試に出願する場合は 2 期の事前相談期間に事前相談を受ける必要があります。

◆事前相談等選考日程

	1 期	2 期
事前相談期間	2025 年 7 月 7 日（月）～ 7 月 11 日（金）	2025 年 12 月 1 日（月）～12 月 5 日（金）
課題レポート 提示日	2025 年 9 月 9 日（火） 研究課からメール	2026 年 1 月 20 日（火） 研究課からメール
課題レポート 作成	出願者の研究テーマに関連した課題をメールにて指示します。3,000～4,000 字程度の課題レポートを期日までに研究課へ提出してください（メール必着）。	
課題レポート 提出期日	2025 年 9 月 23 日（火・祝）まで メール必着	2026 年 2 月 3 日（火）まで メール必着
書類審査	全員実施	全員実施
口述試験	2025 年 10 月 4 日（土） 10:00～（予定）	2026 年 2 月 16 日（月） 10:00～（予定）
	【選考項目】 研究の目的・研究計画・研究意欲等を「研究計画書」等の内容に基づき試問します。	

◆合格判定基準

以下の①～③のすべてを満たすことで合格となります。

- ①書類審査
…出願書類をもとに総合的に判断します。
- ②課題レポート
…提出物は出願書類と併せて総合的に判断します。
- ③口述試験
…口述試験担当者 3 名による各 100 点満点の平均点が 60 点以上

(2 期入試のみ) シニア研究生の合格基準

正規課程の不合格者のうち、シニア研究生を希望していて、大学院で研究を継続できる高い意欲を持ち、研究科委員会が特に認めた者

(5) シニア研究生入試【2期】

◆事前相談

- 研究テーマ等を確認するとともに研究上の不一致を防止するため、事前相談期間を設けています。出願に際しては、事前相談を受けることを推奨しています。
- 事前相談は、原則 Zoom によるオンラインで実施します（時間はおおむね 30 分程度）。
- 事前相談の予約は、相談希望日（土日・祝日を除く）の 1 週間前の 16 時までにメールで受け付けます。
【事前相談予約メール送信先】 kyomu@s.tku.ac.jp（東京経済大学・研究課）
【予約申込必要事項】 以下の内容を A4・1～2 ページ程度にまとめて送ってください。
①氏名、②生年月日、③電話番号、④志望研究科名、⑤希望指導教員名、⑥相談希望日（第 3 希望まで、時間の指定があれば明記）、⑦経歴・志望動機・研究テーマや内容・研究計画等について

◆事前相談等選考日程

		試験時間等（予定）
事前相談期間	推奨	2025 年 12 月 1 日（月）～12 月 5 日（金）
書類審査	全員実施	—
口述試験	全員実施	2026 年 2 月 16 日（月） 10：00～
	【選考項目】	研究の目的・研究計画・研究意欲等を「研究計画書」等の内容に基づき試問します。

◆合格判定基準

以下の①、②のすべてを満たすことで合格となります。

①書類審査

…出願書類をもとに総合的に判断します。

②口述試験

…口述試験担当者 2 名による各 50 点満点の平均点が 30 点以上

2. 博士後期課程

(1) 一般入試【1期・2期】

選考方法・試験科目		試験時間（予定）
書類審査	全員実施	—
筆記試験	英 語 *辞書の参照を認めます（電子辞書・専門用語辞書は除く） *解答は、日本語で行います。 【採点基準（解答のポイント）】	10：00～11：30
	本学ホームページ ▶ 大学院・研究 ▶ 学生募集 ▶ 過去問題・出題意図・解答例 で公開しています。	—
口述試験	修士論文等の内容を中心に全員実施 【選考項目】	13：00～ (※)
	研究の目的・研究計画・研究意欲等を「研究計画書」等の内容に基づき試問します。 日本語を母語としない受験者には、大学院で研究できるレベルの日本語能力を有しているかを口頭で確認します。	—
採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。		
【合否判定基準】以下の①～③のすべてを満たすことで合格となります。		
①書類審査 …出願書類を基に総合的に判断します。		
②筆記試験 …「英語」100点満点中40点以上		
③口述試験 …口述試験担当者3名による各100点満点の平均点が60点以上		
【(2期入試のみ) 研究生の合格基準】 正規課程の不合格者のうち、研究生を希望していて、大学院で研究を継続できる高い意欲を持ち、研究科委員会が特に認めた者		

- ・TOEFL iBT72点以上、TOEIC® L&R785点以上(IPテストは不可)、IELTS 5.5以上のスコアを得ている場合、筆記試験の外国語科目「英語」を免除します。
「英語」の免除を希望する場合、TOEFL、TOEIC®、IELTSのスコアがわかる書類をウェブ登録してください。また確認のため、試験当日は必ず原本を持参してください。
2023年4月1日以降に受験したもののみ有効です。

(※) 英語試験免除の志願者については、口述試験を10：00以降に実施する場合があります。

(2) シニア大学院入試【1期・2期】

◆事前相談

- 研究テーマ等を確認し、研究上の不一致を防止するため、事前相談期間を設けています。事前相談で、出願の可否を判断しますので、事前相談を受けていない場合は出願できません。
- 事前相談は、原則 Zoom によるオンラインで実施します（時間はおおむね 30～60 分程度）。
- 事前相談の予約は、相談希望日（土日・祝日を除く）の 1 週間前の 16 時までにメールで受け付けます。

【事前相談予約メール送信先】 kyomu@s.tku.ac.jp（東京経済大学・研究課）

【予約申込必要事項】 以下の内容を A4・1～2 ページ程度にまとめて送ってください。

- ①氏名、②生年月日、③電話番号、④志望研究科名、⑤希望指導教員名、⑥相談希望日（第 3 希望まで、時間の指定があれば明記）、⑦経歴・志望動機・研究テーマや内容・研究計画等について

※1 期入試に出願する場合は 1 期の事前相談期間に、2 期入試に出願する場合は 2 期の事前相談期間に事前相談を受ける必要があります。

◆事前相談等選考日程

	1 期	2 期
事前相談期間	2025 年 7 月 7 日（月）～ 7 月 11 日（金）	2025 年 12 月 1 日（月）～12 月 5 日（金）
書類審査	全員実施	全員実施
口述試験	2025 年 10 月 4 日（土） 10:00～（予定）	2026 年 2 月 16 日（月） 10:00～（予定）
	【選考項目】 ・口述試験は修士論文等の内容を中心に行います。	

◆合格判定基準

以下の①、②のすべてを満たすことで合格となります。

①書類審査

…出願書類をもとに総合的に判断します。

②口述試験

…口述試験担当者 3 名による各 100 点満点の平均点が 60 点以上

■ 試験当日の注意事項

- ・出願後に送付する受験票に記載の時刻に集合してください。
- ・試験会場は、本学国分寺キャンパスです（詳細は受験票にてお知らせします）。
- ・筆記試験については、1 時限目開始後 30 分を過ぎてからの受験は認めません。
- ・1 時限目の試験を受験していない場合は、2 時限目以降も受験できません。
- ・口述試験の開始時刻は、全体の志願状況等によって変更になる場合があります。
- ・筆記試験、口述試験ともに、特別な記載がない限り、受験票以外の持ち込みは認めません（博士後期課程の口述試験において、修士論文（本体・要旨）等の持ち込みも不可です）。

現代法学研究科募集要項（2026年4月入学）

I. 入学試験の概要

1. 入学試験実施一覧

課 程	入 試 区 分	1 期 (10 月期)	2 期 (2 月期)
修 士	一般入試	○	○
	留学生入試	○	○
	社会人入試	○	○
	シニア大学院入試	○	○
	学内選考入試※	○	○
	シニア研究生入試	-	○

※学内選考入試（修士課程）の選考方法等の詳細は、研究課までお問い合わせください。

2. スケジュール

	1 期 (10 月期)	2 期 (2 月期)
出願期間	2025年8月25日（月）～8月29日（金）	2026年1月5日（月）～1月9日（金）
試験日	2025年10月4日（土）	2026年2月16日（月）
合格発表日	2025年10月10日（金）	2026年2月24日（火）
入学手続期間	2025年10月10日（金）～11月7日（金）	2026年2月24日（火）～3月5日（木）
入学辞退手続期限	2026年3月31日（火）16時まで	

3. 募集人員

課 程	専 攻	募集人員	標準修業年限	備 考
修 士	現代法学	10 名	2 年	*募集人員は、1期・2期すべての入試区分を合わせた総計。

Ⅱ. 出願資格（以下の各入試区分において、いずれかの項目に該当する者）

（1）一般入試

- (1) 学校教育法の定める大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込の者
 - (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育を日本国内において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
 - (5) 日本国内において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
 - (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
 - (7) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
 - (8) 旧制学校等を修了した者
 - (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
 - (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時点において22歳に達している者
- ※ 出願資格(10)によって出願しようとする者については、事前に個別の入学資格審査を行います。
(P. 100参照)
- ※ 個別の入学資格審査で出願資格を得た者は、結果通知書のコピーを出願書類に同封してください。

（2）留学生入試

- (1) 出願時に日本語能力試験N1に合格していて、入学時点において在留資格が「留学」である者
 - (2) 学校教育法の定める大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込の者
 - (3) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
 - (4) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
 - (5) 外国の学校が行う通信教育を日本国内において履修することにより、当該国の16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
 - (6) 日本国内において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
 - (7) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込の者
 - (8) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
 - (9) 旧制学校等を修了した者
 - (10) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など各省大学校を修了した者及び2026年3月までに修了見込の者
 - (11) 本大学院において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時点において22歳に達している者
- ※ 出願資格(11)によって出願しようとする者については、事前に個別の入学資格審査を行います。
(P. 100参照)
- ※ 個別の入学資格審査で出願資格を得た者は、結果通知書のコピーを出願書類に同封してください。

(3) 社会人入試

- (1) 入学時点において満25歳以上でかつ、民間企業・官公庁等において3年以上の実務経験（注）を有する者
（注）会社員等による職務経歴が通算で3年以上あること。かつ、その間の在籍期間証明書を提出できること。
 - (2) 学校教育法の定める大学を卒業した者
 - (3) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
 - (4) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 外国の学校が行う通信教育を日本国内において履修することにより、当該国の16年の課程を修了した者
 - (6) 日本国内において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者
 - (7) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (8) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者
 - (9) 旧制学校等を修了した者
 - (10) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者
 - (11) 本大学院において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- ※ 出願資格(11)によって出願しようとする者については、事前に個別の入学資格審査を行います。
(P. 100参照)
- ※ 個別の入学資格審査で出願資格を得た者は、結果通知書のコピーを出願書類に同封してください。

(4) シニア大学院入試

- (1) 入学時において満 52 歳以上で大学を卒業した者、もしくは学士の学位を有する者
- (2) 出願資格(1)に準ずるもので各研究科委員会が認めた者

(5) シニア研究生

- (1) 入学時において大学卒業後、もしくは学士の学位取得後 30 年以上を経た者
- (2) 出願資格(1)に準ずるもので各研究科委員会が認めた者

Ⅲ. 出願書類・出願方法（特に記載がない場合は課程・入試区分を問わず共通）

- (1) 後記の各出願書類を、それぞれ「ウェブ登録」「郵送」のいずれか指定された方法で、出願期間を厳守のうえ提出してください（郵送は消印有効ではありません）。
- (2) ウェブ登録する出願書類の各様式は、本学ホームページ▶大学院・研究▶入試情報からダウンロードしてください。
- (3) ウェブ出願フォーム（P. 105 参照）は、本学ホームページ▶大学院・研究▶入試情報に出願期間中のみ公開されます。
- (4) 郵送する出願書類は、市販の封筒を使用し簡易書留で郵送してください（出願締切日必着）。
角 2 サイズの封筒を使用する際は【様式 9】を切り取って使用してください。

【送付先】 〒185-8502 東京都国分寺市南町 1-7-34 東京経済大学研究課・大学院担当
(電話) 042-328-7741 (メール) kyomu@s.tku.ac.jp

- (5) 出願書類は日本語で作成してください。また、各出願書類の氏名欄について、漢字圏出身の方は原則漢字での記入をお願いいたします。
- (6) 検定料は出願期間前に振り込まないでください。
- (7) 出願書類の返却および入学検定料・手数料の返金は、理由のいかんにかかわらず行いません。また、出願期間を過ぎての検定料払込、出願書類の提出は無効となります。

<p style="text-align: center;">志願票 【様式1】 ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア大学院は【様式1-2】を、シニア研究生（修士）は【様式1-3】を、その他の入試はいずれも【様式1-1】を使用してください。 ・写真はく上半身・脱帽・6ヵ月以内に撮影・縦4cm×横3cm>のものを貼付してください。 ・写真は入学後の学生証にも使用します。
<p style="text-align: center;">入学志願者調書 【様式2】 ウェブ登録</p>	<p>【修士課程（社会人入試含、シニア大学院（修士）・シニア研究生除）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【様式2-1】に記入すること。 <p>【シニア大学院（修士）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【様式2-3】に記入すること。標準修業年限は2年だが、長期修業年限を希望する場合は、3年か4年かを必ず選択すること。可否は現代法学研究科で審議する。 <p>【シニア研究生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【様式2-4】に記入すること。
<p style="text-align: center;">研究計画書 【様式3】 ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A4サイズで2ページ以内を厳守してください。
<p style="text-align: center;">学業成績証明書 郵送</p>	<p>【修士課程（シニア大学院、シニア研究生含）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出身大学作成のもの1通。出身大学に編・転入学した者はそれ以前の短大・大学の成績証明書も添付のこと。また大学院修了（見込含む）者は、大学院の成績証明書も添付のこと。
<p style="text-align: center;">卒業証明書または 卒業見込証明書 郵送</p>	<p>【修士課程（シニア大学院、シニア研究生含）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出身大学作成のものを1通。大学院修了（見込含む）者は、大学院の修了証明書または修了見込証明書も添付のこと。
<p style="text-align: center;">【一般入試の該当者のみ】 筆記試験免除に該当する資格の証明書等 ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出願時に合格していることが条件。 ・原本をスキャンしたデータ、または撮影した写真データをウェブ登録してください。
<p style="text-align: center;">【社会人入試のみ】 社会活動歴書（様式5） ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定「社会活動歴書」表裏に記入すること。
<p style="text-align: center;">【社会人入試のみ】 在職期間証明書 郵送</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出願資格に定める在職期間を証明するもの。勤務先が複数に渡る場合は、そのすべてが必要となる。
<p style="text-align: center;">入学検定料 シニア研究生 : 28千円 シニア研究生以外 : 35千円 ウェブ登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便局窓口にて、郵便振替を利用して以下の口座へ払い込むこと。 ・払い込み後に渡される「振替払込請求書兼受領証」（原本をスキャンしたデータ、または撮影した写真データ）をウェブ登録してください。 <p>【入学検定料払込先】</p> <p>口座記号番号： 00100-0-300237</p> <p>加入者名： 学校法人 東京経済大学大学院検定料口</p> <p>※通信欄に「東京経済大学大学院入学検定料」と記入</p> <p>※本冊子添付用紙を使用しても可</p>

- 「授業料後払い制度」申請希望者は、前記に加えて、以下の書類を提出してください。

<p>「授業料後払い制度」 希望申請書【様式6】 ウェブ登録</p>	<p>・本学所定の用紙に記入して提出してください。</p>
--	-------------------------------

- 外国籍の方は、前記に加えて以下の書類を提出してください。

<p>在留カード（表・裏） ※在留資格の記載があるもの ウェブ登録</p>	<p>・カードをスキャンしたデータ、または撮影した写真データをウェブ登録してください。 ・日本国外からの出願者は、来日後にコピーを提出してください。</p>
<p>【留学生入試受験者のみ】 N1日本語能力認定書 ウェブ登録</p>	<p>・認定書の発行が間に合わない場合は、N1成績通知書で可</p>
<p>日本語能力の認定書類 （留学生入試出願者は不要） ウェブ登録</p>	<p>・本学所定の「日本語能力認定書【様式7】」を提出すること。</p>
<p>入学後における学費等の 負担方法に関する調書【様式8】 ウェブ登録</p>	<p>・本学所定の用紙に記入すること。</p>
<p>【中国の大学等を卒業（修了） している場合】</p>	<p>中国の大学を卒業（修了）している場合は、教育部学生サービス・発展センター（CSSD:教育部学生服务与素质发展中心）が発行する学歴認証報告書/教育部学历证书电子注册备案表（英文版）を提出することができます。 この場合は、本学・研究課（kyomu@s.tku.ac.jp）へメール送信してください。なお、これらが提出される場合は、卒業（修了）証明書の提出を省略して構いません。</p>

■ 出願に関する注意事項

- ・日本国外からの出願は、10月に実施する1期入試のみが対象となります。
- ・日本国内に在留し、在留資格が「留学」である者については時期（1期、2期）にかかわらず出願可能です。
- ・修士課程一般入試出願資格(10)・留学生入試出願資格（11）・社会人入試出願資格(11)に該当する者は、2月実施の入試に先立つ個別の入学資格審査を受け、出願資格ありと判断された者のみ出願を認めます。従って、1期入試の出願は認めません。
- ・個別の入学資格審査の方法等の詳細は、P.100「個別の入学資格審査について」をご参照ください。

IV. 試験科目・選考方法・試験時間・合否判定の基準

(1) 一般入試

試験科目	選考方法	試験時間（予定）
①書類審査	—	—
②筆記試験	<p>小論文（持込不可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各専門分野について的小論文（1問） ・試験時間 60分 <p>※但し、出願時に以下のいずれかに該当する者は、筆記試験を免除します。該当する資格証明書等の写しを出願時に提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税理士試験（税法科目に限る）科目合格者 ・司法書士試験合格者 ・行政書士試験合格者 ・社会福祉士、又は介護福祉士か精神保健福祉士試験合格者 ・社会保険労務士試験合格者 ・TOEIC 600点以上取得者又は、英検 2級相当以上の英語資格取得者 	10:00～11:00
③口述試験	<ul style="list-style-type: none"> ・25～30分程度実施 ・「研究計画書」等の内容に基づき試問 ※「研究計画書」の持込可 	13:00～
<p>採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。</p> <p>【合否判定基準】</p> <p>①書類審査：提出された出願書類を元に総合的に判断いたします。</p> <p>②筆記試験：800字以上記述していること。 採点者3名。1人100点で、採点者3名の平均点が60点以上を合格とする。 「過去問題・解答のポイント」を、以下で公開しています。 本学ホームページ ▶ 大学院・研究 ▶ 学生募集 ▶ 過去問題・出題意図・解答</p> <p>③口述試験：採点者3名。1人10点。2名が4点以下の評点を付けた場合は不合格となる。</p> <p><2期入試のみ> 不合格者のうち、研究生を希望していて、審査で一定の基準を満たした者は、「研究生」として合格とする。</p>		

(2) 留学生入試

試験科目	選考方法	試験時間（予定）
①書類審査	—	—
②口述試験	<ul style="list-style-type: none"> ・25～30分程度実施 ・「研究計画書」等の内容に基づき試問 ※「研究計画書」の持込可 	10:00～
<p>採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。</p> <p>【合否判定基準】</p> <p>①書類審査：提出された出願書類を元に総合的に判断いたします。</p> <p>②口述試験：採点者3名。1人10点。2名が4点以下の評点を付けた場合は不合格となる。</p>		

<2期入試のみ>

不合格者のうち、研究生を希望していて審査で一定の基準を満たした者は、「研究生」として合格とする。

(3) 社会人入試

試験科目	選考方法	試験時間 (予定)
①書類審査	—	—
②口述試験	・25～30分程度実施 ・「研究計画書」等の内容に基づき試問 ※「研究計画書」の持込可	10:00～

採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。

【合否判定基準】

①書類審査：提出された出願書類を元に総合的に判断いたします。

②口述試験：採点者3名。1人10点。2名が4点以下の評点を付けた場合は不合格となる。

<2期入試のみ>

不合格者のうち、研究生を希望していて、審査で一定の基準を満たした者は、「研究生」として合格とする。

(4) シニア大学院入試

試験科目	選考方法	試験時間 (予定)
①書類審査	—	—
②口述試験	・25～30分程度実施 ・「研究計画書」等の内容に基づき試問 ※「研究計画書」の持込可	10:00～

採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。

【合否判定基準】

①書類審査：提出された出願書類を元に総合的に判断いたします。

②口述試験：採点者3名。1人10点。2名が4点以下の評点を付けた場合は不合格となる。

<2期入試のみ>

不合格者のうち、研究生を希望していて、審査で一定の基準を満たした者は、「研究生」として合格とする。

※研究上の不一致が生じないよう、出願前に事前相談することを推奨します。

(5) シニア研究生

試験科目	選考方法	試験時間 (予定)
①書類審査	—	—
②口述試験	・25～30分程度実施 ・「研究計画書」等の内容に基づき試問 ※「研究計画書」の持込可	10:00～

採点基準、選考項目を基に総合的に判断します。

【合否判定基準】

①書類審査：提出された出願書類を元に総合的に判断いたします。

②口述試験：採点者3名。1人10点。2名が4点以下の評点を付けた場合は不合格となる。

※研究上の不一致が生じないよう、出願前に事前相談することを推奨します。